

## おとなの自動車保険の新CMリリース ～保犬役の松田さんが、不安役の温水さんを取り除く～

セゾン自動車火災保険株式会社（代表取締役社長：佐藤 史朗、以下「セゾン自動車火災保険」）は、4月21日（金）より、俳優の松田龍平さん、温水洋一さんを起用した『おとなの自動車保険』の新CMシリーズを公開します。



### 1. 新CMの概要

新たにスタートする TVCM シリーズでは、松田さんと温水さんが人間役でなく、目に見えない“サービス”やお客さまが抱える“不安”を擬人化した役柄に挑戦。第一弾となる今回は「自己紹介篇」「カーライフサービス篇」「ネット割篇」の3種バリエーション展開になっています。松田さんが、『おとなの自動車保険』を犬に擬えた「おとなの自動車保“犬”」役として登場。納得の保険料、豊富な割引プラン、安心の事故対応力を案内しながら、お客さまの側に居座る「不安」役の温水さんを華麗に取り除き、お客さまを頼もしく支える『おとなの自動車保険』のサービスイメージを表現します。

また、TVCM 以外にも WEB-CM として、3種「30秒で解説！価格篇」「30秒で解説！安心篇」「30秒で解説！SA・PO・PO 篇」を同時展開します。松田さんと温水さんが様々なストーリーを通して、『おとなの自動車保険』の魅力を伝えていきます。

<新CMはこちら>

URL : <https://www.ins-saison.co.jp/otona/insurance/cm/?cid=WHP001>

### 2. 新CMのみどころ

今回公開される TVCM は、「自己紹介篇」をはじめ、お客さまの不安に応じて、『おとなの自動車保険』の特徴やプランをご紹介するさまざまなバリエーションをご用意しています。自動車保険選びの不安や、おトクなサービスを選んでいるかの不安など、さまざまな不安を温水さんが演じ、おとなの自動車保“犬”の松田さんが解決しています。目に見えないサービスやお客さまが抱えるさまざまな不安を、表情やセリフ、細かい仕草で表現するお二人の演技力が見所で、お二人が初登場する「自己紹介篇」では、軽快なテンポで手際よく不安を取り除く様子をコミカルに演じる掛け合いに是非ご注目ください。

### 3. 新CMの内容

T V C M	「自己紹介」篇 (30秒・15秒)	女性が運転する車の助手席に座る“不安”の温水さんを、セゾン自動車保“犬”の松田さんが引きずり出し、松田さんが助手席に乗り込みます。おとなの自動車保“犬”が運転手の不安を取り除き、寄り添う様子を映します。	
	「カーライフサービス」篇 (15秒)	どきも同じに見える自動車保険で、何がベストなのか選ぶのが不安な方に、犬を連れておとなの自動車保“犬”の松田さんが、『SA・PO・PO』による手厚いカーライフサービスと、満足度No.1の実績を紹介しします。	
	「ネット割」篇 (15秒)	おトクな自動車保険を選んでいるかの不安を、温水さんが肩車で乗っかり表現しします。おトクなサービスを選びたい方に、『おとなの自動車保険』のネット割で、新規割引だけではなく、継続的な割引を受けられる、ずっとおトクなサービスのポイントをおとなの自動車保“犬”の松田さんが紹介しします。	
W E B C M	「30秒で解説！価格」篇 (15秒)	おトクな割引や安心サポートを“不安”の温水さんが自ら話し、不安が解消されていきます。おとなの自動車保“犬”の松田さんは、“不安”の温水さんにおだてられて、「すまない」、「悪い」と謙遜しながらも連れの犬とともにしっかりと満足度No.1をアピールしします。	
	「30秒で解説！安心」篇 (15秒)	24時間365日事故受付可能な『おとなの自動車保険』のおトクな安心サポートを“不安”の温水さんが自ら話し、不安が解消されていきます。「価格篇」と同様に、おとなの自動車保“犬”の松田さんは「すまない」、「悪い」と謙遜しながらも連れの犬とともにしっかりと満足度No.1をアピールしします。	
	『30秒で解説！SA・PO・PO』篇 (15秒)	他のCMと異なり、温水さんが、安心役として登場しします。安心役で元気な温水さんが、無料で受けられる『SA・PO・PO』のカーライフサポートを、おとなの自動車保“犬”の手拍子とともに、リズムカルに紹介しします。	

<出演者プロフィール>

<p>松田龍平さん</p>  <p>「©JUNJI HATA」</p>	<p>1983年5月9日生まれ。俳優。映画『御法度』（1999年）で数々の新人賞を総なめにし、その後、主演作『青い春』（02年）での圧倒的な存在感で注目を浴びる。</p> <p>『舟を編む』（13年）で第37回日本アカデミー賞最優秀主演男優賞、第38回報知映画賞主演男優賞、第68回毎日映画コンクール男優主演賞、第23回日本映画批評家大賞主演男優賞ほか多数受賞。近年の主な出演作は、映画『探偵はBARにいる』シリーズ（11・13・17年）『ぼくのおじさん』（16年）『散歩する侵略者』（17年）『羊の木』『泣き虫しょったんの奇跡』（18年）『影裏』（20年）、ドラマ『ストレンジャー～上海の芥川龍之介～』（19年 NHK）『大豆田とわ子と三人の元夫』（21年 KTV・CX系）、『連続ドラマW 鶴頭川村事件』（22年 WOWOW）、</p> <p>待機作に、『連続ドラマW 0.5の男』（WOWOW／5月28日（日）午後10時放送・配信スタート／全5話）、映画『次元を超える TRANSCENDING DIMENSIONS』（2024年公開予定）等がある。</p>
<p>温水洋一さん</p> 	<p>1964年6月19日生まれ。宮崎県出身。1988年より数々の舞台出演を経て、個性的なキャラクターで人気を集め、その後数多くの映画・テレビ・舞台・CMなどで活躍。唯一無二の俳優として広く知られる。2017年に舞台『管理人』で第52回紀伊國屋演劇賞・個人賞受賞。</p> <p>近年の主な出演作には、ドラマ『連続ドラマW 正体』（22年 WOWOW）、『かりあげクン』（23年 BS松竹東急）、映画『ウラギリ』（22年）、『ていだいつか太陽の下を歩きたい』、舞台『関数ドミノ』（22年）、『世界は笑う』（22年）など。</p> <p>現在フジテレビのバラエティ番組「ぶらぶらサタデー タカトシ温水の路線バスで！」にレギュラー出演中。</p> <p>待機作に、ドラマ『わたしのお嫁くん』（フジテレビ 23年4月クール）、映画『新メンを募集したら、そこも異次元空間だった。』（23年8月以降公開予定）、舞台『CHAIROIPLIN おどるシェイクスピア「BALLO～ロミオとジュリエット～」』（23年8月30日（水）LINE CUBE SHIBUYAにて公演予定）などがある。</p>

以上